

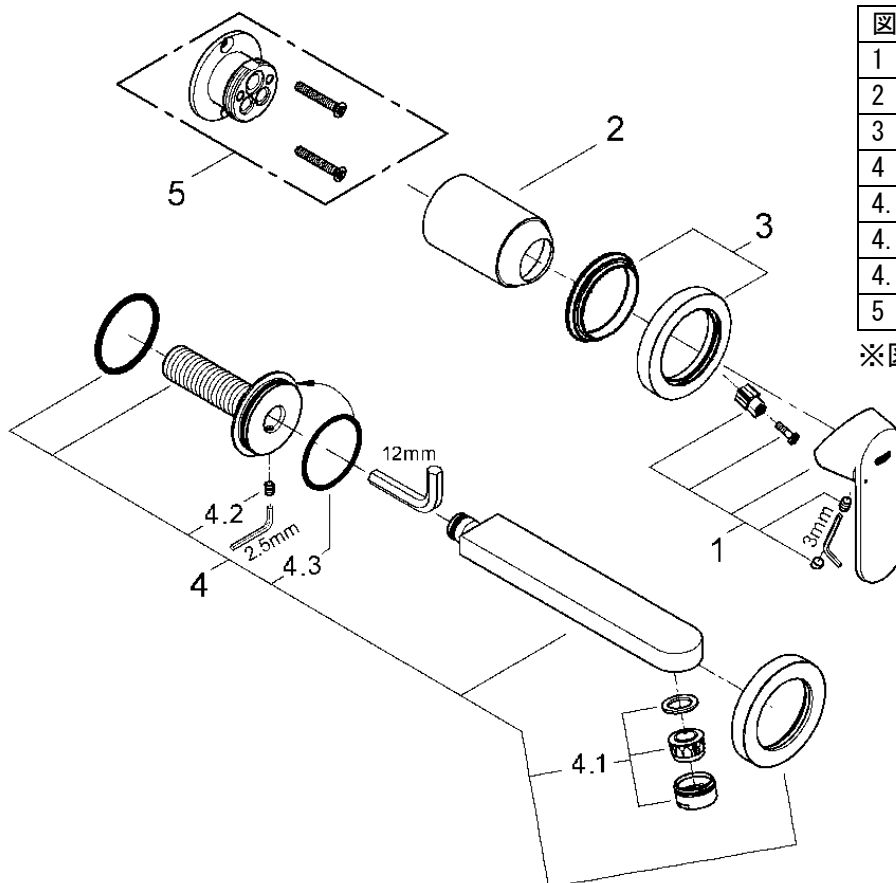
シングルレバー洗面埋込化粧部施工説明書 (お客様にお渡しく下さい)

機種名	化粧カバー品番	埋込本体品番
ユーロスマートコスモポリタン	1938100J	3263500J
コンチェット	1957510J	3263500J

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
 - この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
 - 施工完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

分解図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



図番	名称
1	レバーセット
2	化粧スリーブ
3	フランジ
4	吐水口
4.1	エアレーター
4.2	固定ビス
4.3	Oリング
5	エクステンション

※図は1938100Jです

※壁の穴あけ寸法は本体の養生カバーに合わせてください。
壁面の化粧材厚みは50mm以下。

安全上の注意

施工前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

施工完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

使用条件

● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(0.05Mpa [0.5kgf/C㎡])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C㎡])の範囲とします。

給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(A+0.05Mpa [0.5kgf/C㎡])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C㎡])の範囲とします。給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されて降ります。

レバ、一ハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度設定です。

◇給水圧力が0.74Mpa [7.5kgf/C㎡]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

● 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

● 給湯に蒸気を使用しないでください。

施工前の注意

● 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

● 給水は上水道に接続してください。

※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

● 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

● 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。

● 寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないとは使用できません。

● 取り付けの場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

● 本体のガタツキ防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

● 接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ（TP1/2、R1/2）には使用しないでください。

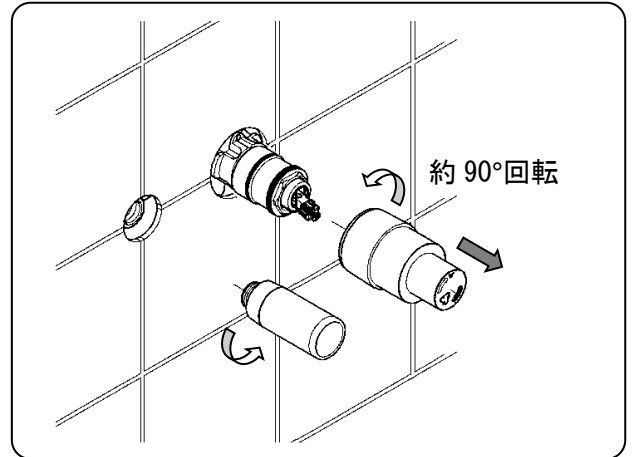
● 逆流防止は付属しておりません。逆流のおそれがある場合（先端にホースを付けるなど）は、別途逆流防止を設置してください。

施工手順

1. 埋込本体の準備 (図1参照)

- ①向かって右側(大きい方)のレバー用養生カバーを、約 90° 回転させてから、手で引き抜いてください。
- ②向かって左側(小さい方)の吐水口用養生カバーを、手もしくは 10mm 六角レンチで、左回しに取り外します。
※上記部品は必要なくなります。現場で処分してください。
※養生カバーを取り外した時に、ホコリやゴミが付着した場合は除去してください。

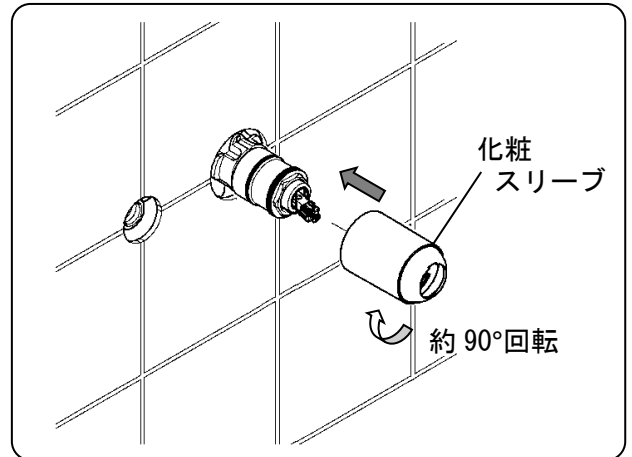
図1



2. 化粧スリーブの取り付け (図2参照)

- ①向かって右側のレバー側に化粧スリーブを手でいっぱいまで差し込み、手で約 90° 回転させ、取り付けてください。
※化粧スリーブの若干のガタつきは構造上発生します。部品の不良ではありませんので、ご使用に関しては何ら問題にはなりません。

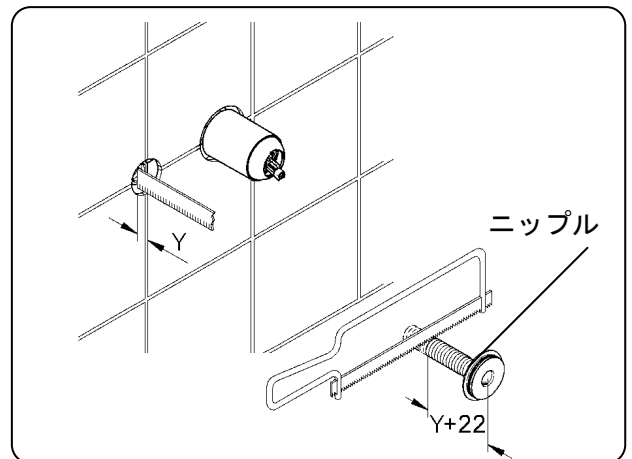
図2



3. ニップルの準備 (図3参照)

- ①吐水口付属部品を収納している箱からニップルを取り出してください。
もしくは吐水口に取り付けてある場合がありますので、固定ビスを弛めニップルを引き抜いてください。
- ②ニップルの接続ネジが、接続の埋込寸法より長すぎる場合は、接続の先端から仕上げ面の距離「Y」を測定し、金ノコ等で規定寸法($Y+22$)に切断してください。
※ニップルの切断は規定寸法を守ってください。壁面に隙間がいたり、吐水口が取り付けられない場合があります。

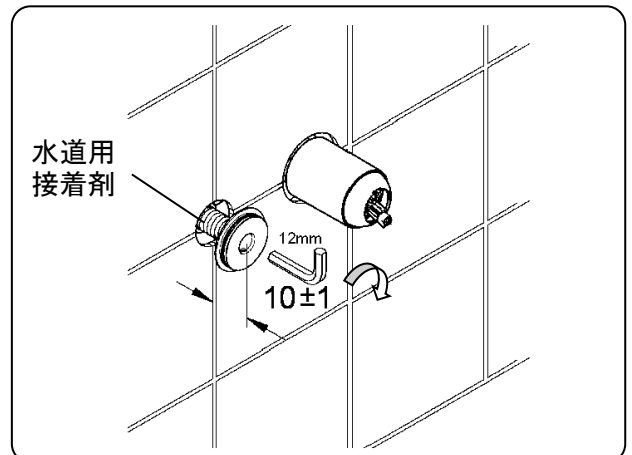
図3



4. ニップルの取り付け (図4参照)

- ①ニップルの接続ネジ部にシーラント剤(シーラテープ)等を使用し、 12mm 六角レンチで配管に右回しにねじ込みます。
※ニップルが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、配管の固定を再度確認してください。
※ニップルのねじ込みは規定寸法を守ってください。壁面に隙間がいたり、吐水口が取り付けられない場合があります。

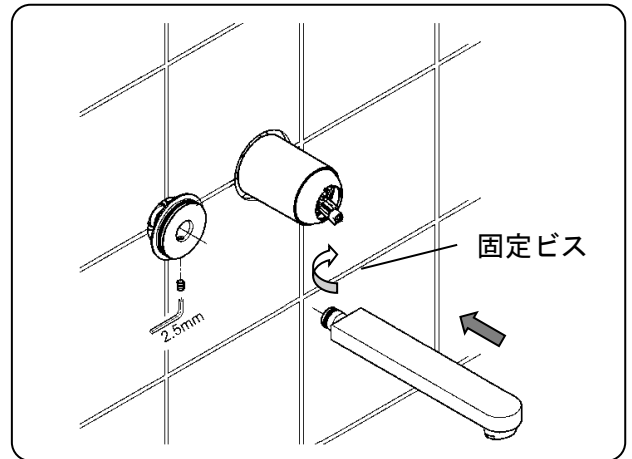
図4



5. 吐水口の取り付け (図5参照)

- ①吐出口の向きを下に合わせ、ニップルに吐水口を手で差し込みます。
- ②吐水口に固定ビスを2.5mm六角レンチで右回しにねじ込み、固定します。
- ③グラつきや壁内部へ水の浸入の恐れがある場合は、コーキング等シール材を使用してください。
 ※吐水口が差し込みにくい場合はニップルのオリングにグリスを塗ってください。
 ※吐水口が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度固定ビスを締め直してください。

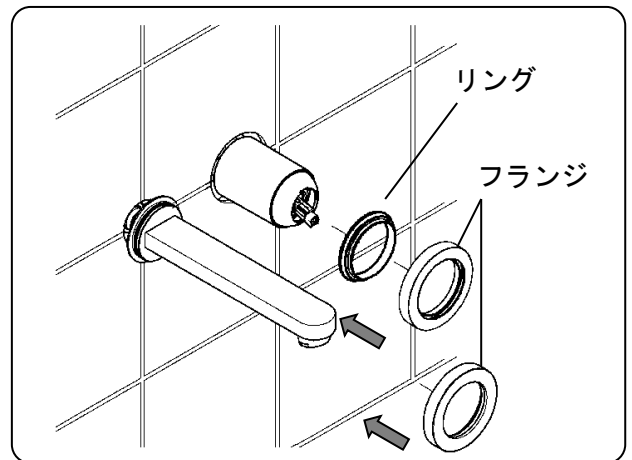
図5



6. フランジの取り付け (図6参照)

- ①化粧スリーブにフランジを手でいっぱいまで差し込みます。フランジには裏表がありますので、キリカキがある面を壁側にします。
- ②吐水口にフランジを手でいっぱいまで差し込みます。フランジには裏表がありますので、キリカキがある面を壁側にします。
 ※フランジが差し込みにくい場合は、内部のリングにグリスを塗ってください。
 ※フランジは若干のガタつきは構造上発生します。部品の不良ではありませんので、グラつくときはコーキング等のシール材を使用してください。

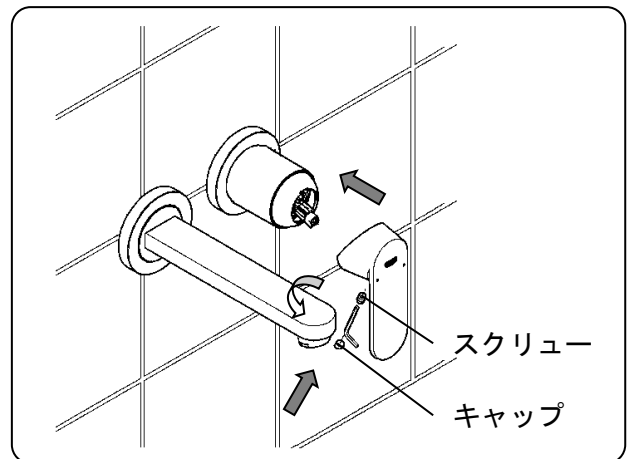
図6



7. レバーの取り付け (図7参照)

- ①セラミックカートリッジのインサートにレバーを手で差し込んでください。
- ②レバーのスクリューを3mm六角レンチで右回しにねじ込んでセラミックカートリッジに固定してください。
- ③レバースクリューの穴にキャップを手ではめ込んでください。
 ※レバーは最後まできちんと差し込んでください。
 ※キャップは小さいですので紛失に注意してください。

図7



取り付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

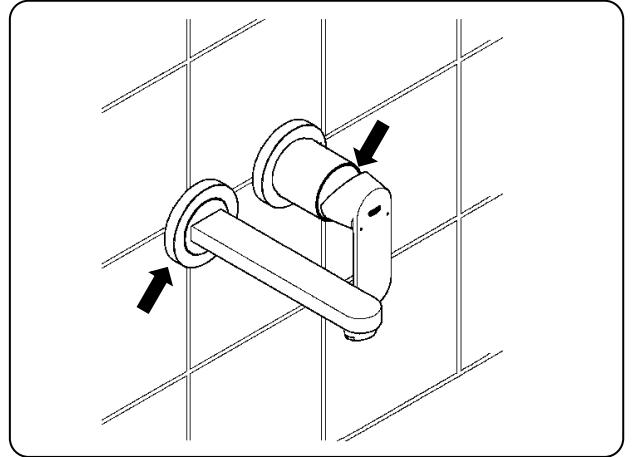
1. 接続部の水漏れ (図8参照)

吐水、止水を数回くりかえした後、図の箇所を点検します。

- 本体とレバーの接続部。
- 本体と吐水口の接続部。

※通水後漏水のない事を必ず確認してください。

図8

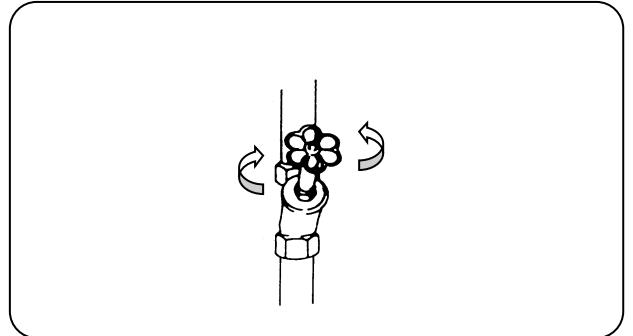


2. 水量・湯温の調節 (図9参照)

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。

※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。

図9



故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

現象	点検箇所
吐水量が少ない	1. 2
温度不良	1
湯が出ない	1
レバーがガタつく	3. 4
吐水口がガタつく	5. 8
吐水口より漏水する	7
壁側に水が入る	6. 8

水浸入防止パッキン
6. きちんと取り付けられているか?

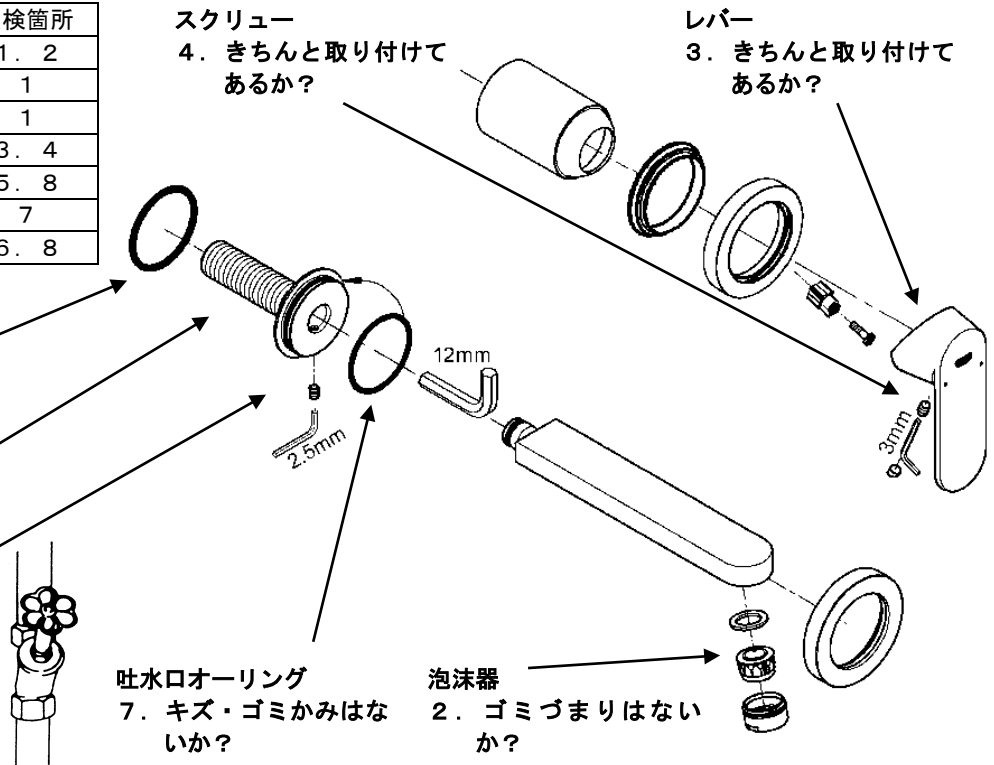
ニップルの接続
8. きちんと施工されているか?

固定ビス
5. 十分に締め付けてあるか?

止水栓
1. 全開されているか?
圧力は十分か?

スクリー
4. きちんと取り付けられているか?

レバー
3. きちんと取り付けられているか?



グローエジャパン株式会社
ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>